令和7年度　宮城県仙台南高等学校 「志教育」年間指導計画

3つの視点	かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす
各教科指導目標 国語		○	○	地理歴史		○	○	公民		○	○	数学		○	○	理科		○	○
言語文化に対する関心を深めることによって、思考力・判断力・表現力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨くとともに自己表現や他者理解に必要な「伝え合う力」を養う。				日本と世界各国の歴史、地理の理解を最大の契機として、民主的で文化的な国家の発展、世界平和と人類の福祉に貢献し得る自覚と資質を養う。				日本国憲法を深く考察することで、民主社会の構成員、すなわち主権者としての自覚と資質を涵養する。				日々の授業を通して日常生活や将来の職業における諸問題を、論理的および数学的思考力を用いて解決する能力を育てる。				自然科学に関わる各分野の学習に積極的・意欲的に取り組むことにより、社会から求められる問題解決の能力や態度を養う。主体的に自然現象と関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに問題解決のための能力を育てる。			
保健体育	○	○		芸術	○	○		外国語	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○		○
健やかな心身の育成に役立つとともに、生涯を通じて主体的にｽﾎﾟｰﾂを楽しめる資質や能力を育み、生活を豊かにする態度を育てる。				生徒一人一人の興味関心や個性を生かし、地域の特徴を踏まえながら、芸術の幅広い活動を通して，生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。				外国語を通じて、外国の文化・習慣に対する関心を深め、さらに情報や考えを適切に伝えたりするｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力を育てる。				「生活すること」に興味・関心を持ち、男女が協力し自立した生活を実践するために必要な知識や技術を身につける態度を育てる。				情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解するとともに、情報と情報技術の問題の発見と解決に活用するための科学的な考え方を養い、情報社会の発展に主体的に寄与する態度を育てる。			

学年共通	かかわる	もとめる	はたす	各学年指導目標	
指導内容 挨拶励行	◎			1年	・新しい環境に適応させる。 ・学年内の関係つくりを促進する。 ・自己理解や他者理解に努める。 ・学びの基礎をつくり，将来についての指針を立てる。
清掃活動	○		◎		
読書活動の推進		◎		2年	・自らの目標を選択させる。 ・社会体験を通し，知識と社会との関連させる。 ・学びの質と量を高め，今後の生き方について主体的に探求させる。 ・上下関係を交えた関係つくりの中から学びの総合力を高める。
生徒の自主活動の推進	◎	◎	◎		
身だしなみを整える	○		◎	3年	・将来につながる精神的強さを身につけさせる。 ・視野を広げ思考を豊かにするための「知識・技能」を身につけさせる。 ・社会との関わりを意識し，「思考力・判断力・表現力・行動力」を高めさせる。 ・将来の進路を見つめ継続して努力する意志を持たせる。
部活動への積極的参加	◎	◎	◎		

	指導内容	ねらい	指導教科等	実施時期	時数	かかわる	もとめる	はたす
	進路適性検査	自身の進路適性を診断し、キャリア意識の向上を図る。	進路指導	4月	1		○	
	防災学習・防災講話	防災に関する学習、講演会、ワークショップ等をとおし、防災意識を高める。	総探	4月・9月	3			
	地域課題研究講演会	地域の課題を見つけ、解決策を考える際のポイントや視点について理解を深める。	総探	5月	2	○	○	
	地域課題研究オリエンテーション	地域創生を実践する社会人の講話を聴き、地域社会への関心を高め、自分事として地域を見つめる視点を養う。	総探	5月	2	○	○	○
	地域団体プレゼンテーション	地域の人材を学校に招き、地域課題について講話をいただくことで、地域課題自への理解を深める。	総探	5月	2	○	○	
	オープンキャンパス	普段触れる機会の少ない地域の大学を訪問し、新たな発見や進路意欲を喚起させる。	進路指導	7～8月	2	○	○	
	進路講演会	本校進路指導担当教員や社会人講師の講話を聞くことで、進路意識の高揚を図る。	進路指導／総探	4月・12月	4	○	○	
	東北大学教職実践演習	大学生との交流をとおし、進路目標の明確化を図る。	進路指導／総探	12月	3	○	○	○
	探究バスツアー	設定した訪問先に赴き、現地の方の講話を聞くことで、2学年で実施する課題研究のテーマ設定等に生かす。	総探	3月	6	○	○	○
	課題研究（地域課題解決実践）	地域課題の存在を知り、解決を目的とした活動をとおして研究の手法を習得する。	総探	通年	15	○	○	○
2年	課題研究オリエンテーション	研究の手法や課題発見の方法、課題解決に向けた留意点等について理解を深める。	総探	4月	1	○	○	
	課題研究講演会・専門家からの助言	専門家からの講話をとおし、研究活動の概要や研究テーマ設定・アンケート調査の留意点等について考えを深める。	総探	5月	4	○	○	
	先行研究調べ	社会的課題について先行研究を調べるとともに、知識基盤社会を生き抜くために必要な知識・技能を知る。	進路指導／総探	10月	5	○	○	
	オープンキャンパス	普段触れる機会の少ない地域の大学を訪問し、新たな発見や進路意欲を喚起させる。	進路指導	7～8月	4	○	○	○
	進路講演会	本校進路指導担当教員や社会人講師の講話を聞くことで、進路意識の高揚を図る。	進路指導／総探	4月・6月 12月	4	○	○	
	課題研究（課題研究実践）	自ら設定したテーマについて情報を収集・分析し、研究活動を行う。探究・発表・振り返りのサイクルで自分の学びを精選する。	総探	通年	22	○	○	○
3年	進路講話	本校進路指導担当教員や社会人講師の講話を聞くことで、進路意識の高揚を図る。	進路指導	4月・6月・11月	3	○	○	○
	論文講演会/小論文・志望理由書作成	社会的課題について理解を深めるとともに、知識基盤社会を生き抜くために必要な知識・技能を知る。	進路指導／総探	4月	6	○	○	
	進路講演会	社会人の講師の講話を聴くことで、進路意識の高揚と進路目標のさらなる明確化を図る。	進路指導／総探	4月・6月	4	○	○	
	代表者研究発表会	2年次の課題研究で優れた研究活動を行った生徒を代表とした発表会を行い、校内で研究内容を共有する。	総探	5月	3	○	○	○
	進路ディスカッション演習	多様な進路目標をもつ他者との対話をとおし、広く社会に目を向ける機会とし、自らの進路意識高揚につなげる。	進路指導／総探	7月・9月・11月	8	○	○	○
	進路と探究	進路を基に社会との関わりを意識した自己表現力を身につけ、自立意識を高める。	進路指導	11月・12月	8		○	
	情報と探究	現代社会に必須となる「情報」の知識・技能の習得を図り、社会問題解決に向けてその活用法について理解を深める。	進路指導／総探	7月～1月	8	○	○	○
				合計時数	120			